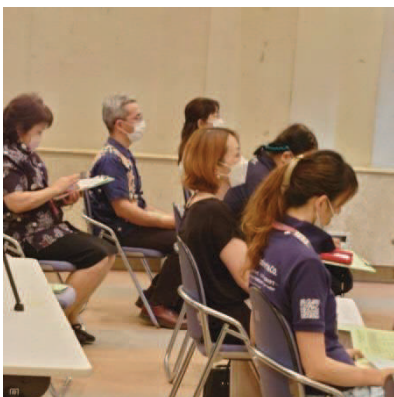
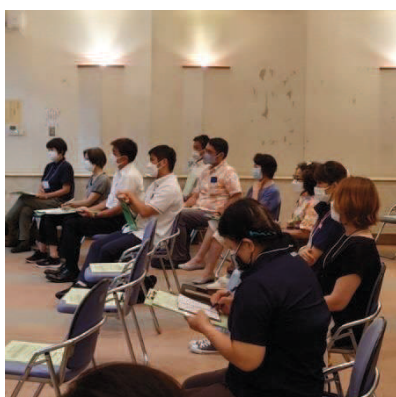


令和4年度浦添市まちづくりアカデミー 講座報告書

第1回講座	
日時	令和4年8月25日（木）19：00～21：00
テーマ	開講式 トークセッション～哲治の部屋 in アカデミー～ 「次世代につなぐ ひとづくり まちづくり」
講師	松本哲治市長（浦添市まちづくりアカデミー学長） 平敷 雅氏（沖縄 VONS レオクラブ・学生団体 VONS） 池原千佳子（特定非営利活動法人シンコペーション 代表）
会場	浦添市市民協働・男女協働参画ハーモニーセンターホール
参加人数	アカデミー受講者：15名 公開講座参加者：5名 行政：7名
講座内容 （概要）	開講式及びトークセッションは、公開講座として行った。 トークセッション 平敷氏 2020年アメリカ留学中に、新型コロナ感染拡大のため、留学が中断となり帰国した。コロナ禍で沖縄の子どもたちが食べるものがないという状況を見聞きし、アメリカ留学中に目にしたフードドネーション活動を実施するための団体を立ち上げることを思いついた。活動が始めるには大きな壁があり、軌道に乗せるために、周りの多くの大人や那覇市役所の方、市民協働大使の方々にサポートしてもらうことができた。学生がもっと気軽にボランティア活動できるよう、手続きの簡素化や企業の協力があるといい。今後は、高校生が自分たちで企画して活動できるような仕組みづくりに取り組んでいきたい。 池原 特定非営利活動法人シンコペーションでは、こども食堂や食糧支援のボランティア、本物の音楽に触れさせる体験、児童センターで様々な体験を通した健全育成のほか、大人の生涯学習などを行っている。たくさんの方からの支援があり、その支援・思いを子どもたちにつなげている。同じ思いを持った人たちとの心のつながりが、活動を継続する支えとなっている。 松本市長 アメリカでは遊びに行く感覚で子どもの頃からボランティアをする環境がある。日本では学生と企業をつなぐ大人の存在が活動を円滑に行う方法の一つではないか。まちづくりにはいろいろあるが、行政も職員それぞれがまちづくり協働の意識をもって仕事にあたると最高であるように、市民が楽しそうなまちをめざすと皆が幸せになれるのではないかな。 三者の話から、活動をする中での壁を乗り越えたり、継続したりするために

	は、人と人とのつながりが大切であり、楽しく活動していくことが、更に活動を広げることができるということを伝えることができた。
参加者の声	・とても良かったです。フランクにボランティアを楽しんでいるのを見聞きして、頼もしく感じました。お互いに頑張っていきましょう。 ・「まちづくり」の中で自分たちに何ができるのか？何をすべきか改めて考えさせられました。 ・学生さんの熱いエネルギー、パワーをひしひしと感じました。雅さんの行動力がとても素晴らしく私たち大人も頑張っていけないといけないなあと思いました。 （一部抜粋）
写真	     

浦添市まちづくりアカデミー 第1回講座 アンケート

日時：令和4年8月25日（木） 19：00～21：00

場所：浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

1. 属性

まちづくりアカデミー受講者 13 件

公開講座参加者 4 件

2. お住まい

浦添市 13 件 浦添市以外（4 件 八重瀬町・中城村・西原町・那覇市）

3. 年齢

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上
0	1	2	5	5	4

4. 講座について

満足	やや満足	やや不満	不満
16（94%）	1（6%）	0	0

5. あなたの市民協働のイメージはどのようなものですか

- ・一人一人ができることをささげていく
- ・地域を育てていきたい
- ・多様な主体が同じ目的を持ってそれぞれの特性を活かし、補い合いながら協力すること。チームになること。
- ・地域での人のつながりの中でお互いに協働することで人材、地域を作り上げる。
- ・ボランティア・社会貢献
- ・気軽なようでとても難しい。難しいようで気軽なもの。
- ・強いおもいをもった仲間が集まり活動する。
- ・市民目線で市民の課題を解決していく姿
- ・人、地域、行政などがゆるやかにつながれているイメージ。
- ・地域で活動している方々が地域課題を解決する」話し合いの場
- ・那覇市でやっているもののようなイメージ（なは協働大使でもあります何故か・・・）
- ・初めよくわからなかったが、お話を伺ううちに、皆が意識高く取り組みれば素晴らしい活動になると思いました。
- ・いちやりばチャョーデー
- ・市民協働←少し硬く感じます。 実際に何をしたいのか思い踏みとどまってしまう。
- ・市民と行政が共に地域の課題に取り組む。難しいイメージ
- ・行政と市民が一緒に課題に取り組む。言葉だけだと難しい感じ。

6. 今日の話を聞いてあなたにできそうだったことはどんなことですか

- ・小さなことですが、人と人を紹介したり、支えていく
- ・今やっている 子ども食堂を少しずつ広げていける。ボランティアを育てていくために。
- ・学生と協働していくこと その接点を作ること。
- ・大学生のボランティア活動を通して社会協働参加する話を聞き楽しく食糧支援とかできそうですね。
- ・活動を広げる。単作り
- ・できることは何だろうと思いました。
- ・近所の高校生とボランティアについて話してみたいと思いました。
- ・私に何ができるか？模索したいと思います。
- ・現在子ども達と関わる仕事をしていますが、様々な方の活動を伺いながら、コロナの中での活動を考えていきたいです。
- ・自分なりにフードドライブに参加していきたいです。
- ・つなげる
- ・人に伝えていく
- ・何ができるのか、まだ模索中です。2回目、3回目と参加していく中で、小さなことでも何ができるか見つけたいと思います。
- ・私たち団体が取り組んでいることを下の世代に繋げていくこと。これからの講座を通して様々な立場の方の話を参考に自分にできることを考えて取り組んでいきたい。

7. ご意見・ご感想など

- ・すごく良かったです。学ぶことが多かったです。
- ・若者の気持ちを聞けて良かった。
- ・人と地域の緩やかなつながりが感じられた。
- ・シンコペーション（池原さん、屋良さん）の活動を知れて良かったです。
- ・雅さん、松本市長、池原さんとの3人のかけあいが面白かったです。ありがとうございます。
- ・とても良かったです。フランクにボランティアを楽しんで行ってるのを見聞きして頼もしく感じました。お互いに頑張っていきましょう
- ・アカデミー受講者の皆様とコミュニケーションをはかりたい。
- ・元気になりました。楽しいお話やすごいなーと思うことがたくさんありました。
- ・刺激を受けてチムドンドンしました。
- ・後半大変おもしろかったです。「まちづくり」の中で自分たちに何ができるのか？何をすべきか改めて考えさせられました。
- ・若い子が立ち上げるという勇気行動力に感動 パワーもらいました。
- ・本日は素晴らしい会をありがとうございます。熱くたぎる思い受け取りました。
- ・次回参加がとても楽しみです。
- ・学生さんの熱いエネルギー、パワーをひしひしと感じました。雅さんの行動力がとても素晴らしく私たち大人も頑張っていけないといけないなあと感じました。
- ・雅さんの“まずやってみよう”精神がとても素晴らしいと思いました。私もまだ動くことが怖いと感じることが多いですが、“まず一歩”踏み出してみようと思います。今日は貴重なお話が聞けて良かったです。ありがとうございます。